

地域社会貢献を通じ、 チームの豊かさを追求

株式会社フジコー
上席執行役員
エンジニアリング事業部長
塩崎 秀徳
Hidenori Shiozaki



エンジニアリング事業部は、当時3部門を集約し2016年1月に創設された部署であり、今年で10年目という節目を迎えます。そうした中で当社技報にこのような特集企画を立てていただき、深い感謝の思いです。

職種替えでの初心者や経験の浅いメンバーと共に小規模でスタートし、地道に積み上げてきた9年でしたが、立ち上げ当初は想像できなかったスピードでスタッフも成長し、共に働く仲間も増え、組織としても強くなっていく変化をしっかりと感じ喜びつつ、事業フィールドも全国に展開できるまでに広がっています。

現在の事業としては、公共工事・電力工事を柱とし取り組んでいます。

具体的内容として、行政施設での給水工事・空調工事・解体工事・建築工事・下水道管更生工事、各種電力会社においては機器据付・解体工事を主に請け負わせていただいています。

この分野に力を入れてきた理由として、地域社会貢献に直結する工事を担うことで、多くの方々の笑顔に接することや地域社会に密着した仕事をスタッフに経験してもらい、働くことのやりがいや醸成され、喜ばれながら仕事を楽しみ、地図に残りいつまでも自分の中で誇れる経験を多く積み上げてもらいたいと考え、3年程前に舵を切ったことをはっきりと覚えています。

生活に欠かすことのできない発電設備に関わり、

下水道老朽化対策に関わり、生活インフラ整備を通じて地域社会貢献を発展的に持続的に組織成長と共に今後もお役に立ち続けたいと考えています。



図 福岡県警本部発注 交番新築工事



図 北九州市発注 武道場空調工事

足元の取組となりますが、義務教育施設整備に対し、お手伝いすることに力を注いでおります。

具体的には学校トイレの改修です。

健康で快適な学校生活を送るうえで重要となる環境ですが、まだまだ必要な改修に手が付けられていない施設が多く、地域として喫緊の課題となっていました。

エンジニアリングという組織名を与えていただきながら、これまでの事業としては設計を除く工事施工が主であり、まだまだ成長すべき課題も存在する中、今年度このトイレ改修事業を設計施工一括発注方式（デザインビルド方式）により中学校 10 校に携わせていただくことになりました。

これまでに小学校 3 校につきトイレ洋式化は施工させていただきましたが、純粋な子供たちから会話を通じて自然で心ある『ありがとう』、『いつ完成ですか』、『すごい、機械で穴を開けてる』、『おじちゃん、頑張って』、『綺麗になって嬉しい』など、笑顔でたくさんの方のありがたい言葉をかけていただきました。また、自分自身や組織の中に時に忘れかけた笑顔や建前などはない純粋な表現の大切さを再認識する価値も見出せました。

たくさんの子供たちや保護者、学校関係者、地域の皆さんと多く接する機会にもなり、チーム全員が最大目標としている笑顔を届け、子供たちが喜んでくれる子供たちのための最高の環境を届けたいと強く思っているところです。

各種社会問題や環境問題、人口問題等々、多くのキーワードがインプットされる時代ですが、自ら出せるアウトプットとして何ができるのかを考えたときに、答えは出ていませんが、子供たちから教わった素直さをもって回答させていただくとするなら、『僕自身きっと大したことはできない』が正解であり、だからこそ小さくても分かりやすい方針を立て、丁寧に誠実にやり続けることが重要になってくると考え、自分自身に課題として与えています。

今後は学校や行政施設のみならず、空き家対策などあらゆる地域課題に向き合い、小さくても何かできることがないかを模索し、チャレンジ精神豊かに新たな事業や業種でも一步を踏み出す勇気をもって、社会貢献を通じ、チームとしての豊かさを追求したいと考えています。

時代の変化を捉え、未来を創造し、地域社会貢献と仲間の豊かさと成長、笑顔満ち溢れる組織を構築し、建設産業に期待される社会的責任をしっかりと果たせるよう、持続的な成長を目指します。

最後になりますが、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今後とも皆様には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



図 北九州市より工事成績優秀表彰受賞



図 港湾 L 型ブロック製作